

KEY NEWS

大島齊社長就任 中広グループ新体制発足

6月24日に開催されました取締役会において、大島齊が代表取締役社長に就任しました。「紙のポスティング」と「ウェブ」の共創、そしてDX化に向けて、大島新社長のもと社員一同、まい進いたします。



— 社長就任あいさつ —

「最も古く、最も新しいフリーメディアを創る」

「変化こそ唯一の永遠」

— ハッピーメディア®の進化 —

私が中広で現場のリーダーとして執行役員を拝命以降、リーマンショック(2008年)、東日本大震災(2011年)、新型コロナウイルス(2020年)と、「100年に一度」と言われた危機が14年間に3度起きました。これらを現場の前線で体験し銘肝したのは、「否定をせず、まず自然体で受け容れる」ということです。否定では何も前に進まない。受け容れ、変わる。「変化こそ唯一の永遠である」と身を以て知りました。「最も強い者が生き残るのではなく、唯一、生き残るのは変化できる者である」。ダーウィンが1859年に発表した「種の起源」にある進化論です。新しいハッピーメディア®は、ロー・テクノロジーとハイ・テクノロジーの融合。先人たちが築き上げた手法にDX化を加え、新しい価値を創出します。

「手紙」は無くならない

— 変わるべきもの、変わらざるもの —

私の好きな言葉に「不易流行」があります。いつまでも変化することのない本質的なものを忘れないなかに、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが、不易の本質であること。これは蕉風俳諧の理念の一つです。

【不易】昨今、メールやチャット等、ネットワークを使用したリアルタイムでのコミュニケーションが極めて簡単に可能となりました。そんななか想いを伝える手段、「手紙」はこの世から消えて無くなるでしょうか。相手を思い便箋と封筒を選ぶ、ペンを選ぶ、文字を手書きし、丁寧に折りたたみ、封筒へ入れる。封筒に封をして、住所と宛名、差出人を書き、

切手を貼り、ポストに投函する。「だからこそ伝わるがある」と考えています。私たちが大切にしてきた、そこに暮らす地元の人たちの活動、そして土の香りを読者へお届けする。一件一件、編集室のスタッフが取材をさせていただき、一件一件、丁寧に編集をし、一軒一軒、丁寧に手配りでポスティングさせていただく。「だからこそ伝わるがある」と考えているのです。

【流行】中広はそこにDX化を図りたいと考えます。例えば、デジタル化した広告レスポンスの自動収集、解析です。いま、それぞれの業種業態において、全国で最もレスポンスがあった広告デザインはどんなものなのか。その情報を全国の編集室とオンタイムで共有する。すでに社内で活用している広告の「自動生成システム」をクライアントに広く開放し、「好きなときに」、「好きなサイズで」、「全国好きな場所へ」と出稿できる仕組み等々。最先端デジタル技術と土の香りがするアナログ技術。「流行」とその根底にあるべき「不易」は両立できると考えます。

「地域と共に生きる」という覚悟

— コロナ禍で見えた果たすべき役割 —

中広にとってDX化は、あくまで手段です。目的は「地元の読者」へ「地元のワクワクする情報」届け、地域の経済活性化へ寄与することです。コロナ禍で休業や時短営業、酒類の提供自粛と、さまざまな苦勞を強いられながらも、それでも安心安全なサービス提供のため、理不尽や我慢と戦いながら鋭意努力を重ねられる街の店舗と寄り添って歩き、その現実を一緒にくぐり抜けてきました。

地域でご商売をされる個人店主さん、販売促進施策としてInstagramやTwitter等のSNSに頑張ってチャレンジされました。ここで「あなたのSNSアカウントは世界中で何人

のフォロワーがいますか?」も大切ですが、きっとこれからは「あなたのアカウントはご近所に何人のフォロワーがいますか?」という時代になります。その「フォロワーをご近所で増やす」方法。それこそがハッピーメディア®がもっとも得意とする手法であると、改めて気が付きました。「地域と共に生きる」と覚悟を決めた中広の使命として、この道を全国の同志と真っ直ぐに進みます。

報恩謝徳の精神で

— 新しい時代を切り拓く —

この度、7月1日に同業の関東の雄、株式会社中広メディアソリューションズ(旧株式会社ばど)、愛知県西尾張エリアの活力溢れる株式会社ケイ・クリエイトより株式譲渡を受け、強力な同志会社が家族となりました。大変心強く、幸甚の至りであります。これによりハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』の総発行部数は全国31都道府県で142誌、約1,163万部。日本の全家庭、約5軒に1軒の割合で直接お届けが可能なメディアとなりました。毎月、数万軒におよぶスポンサー・クライアント、約2,600万人の読者、約3万人の配布担当の皆さん、約2,500人の営業・編集・デザイン・企画にかかわる仲間、印刷会社等関係各位、すべて皆様のお力です。改めて、厚く、厚く御礼申し上げます。最も古く、最も新しいフリーメディア、全国発行へのチャレンジの本格スタートです。

最後になりますが、「広告革命で日本を元気に」の使命のもと、先人の功績を受け継ぎ、一意専心、社業の発展に全力を尽くす所存です。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社中広
代表取締役社長

大島 齊

COLUMN

より善く生きる 新たな仲間と共に、新体制スタート

先の役員会にて、大島齊が中広四代目社長に就任いたしました。若輩者ですが、中島永次同様よしなに、お引き回しの程、お願い申し上げます。

今月より、旧ばど(株式会社Success Holdersメディア事業部承継子会社)が、社名を株式会社中広メディアソリューションズ(CMS)と改め、中広と一体化して歩み始めました。広告業を通して「日本を元気にするため」、「より善く生きるため」に、日本全国5,000万世帯にハッピーメディア®をお届けすべく、全社員心をひとつに全身全霊を傾けてまいります。

ここに導いていただいた関係各位に、改めて感謝御礼申し上げます。

先代生誕100年 「鉢木庵」の教え

先月4日は先代・後藤数次の生誕100年、仏壇に合掌し来し方を振り返る一日となりました。大正11(1922)年岐阜県武儀郡洞戸村生まれ、獣医、学徒出陣、見習士官。終戦後、郷里に戻り地元紙記者。35歳新聞社役員就任、48歳解任、55歳広告代理店中広起業、65歳肝硬変にて世界。

梅雨入り前の晴れ間、ふと空を見上げると、父親である先代との思い出が走馬灯のように巡りました。親父殿に叱られた記憶はありませんが、今も心の底に残っている一言があります。小学4~5年生のとき猩紅熱に罹り、8カ月ほど自宅で隔離生活を送りました。熱も下がり、ようやく学校へ行けるようになったある日、地方総局勤務で単身赴任だった親父殿が久しぶりに帰省。うれしくてはしゃいだ弾みに、ちゃぶ台の上の新聞が畳に落ち、それを無意識に踏んでしまいました。そのとき、「新聞は命だ、踏むな」と親父殿に一喝されました。

13年間毎日綴り、先日5,300日を超えた私のブログのテーマは「新聞を読もう」。親父殿の「新聞記者魂」が、この身にも流れているのかもしれない。地元紙役員を解任され浪々の身であった先代に、中日新聞の拠点広告代理店(岐阜県限定)をやらないかと、故加藤巳郎中日新聞会長から声を掛けていただいた。それが中広の誕生です。

我が社の社訓「飲水不忘掘井人」は、謙虚であれ、そして故加藤会長へのご恩を忘れるなという先代の戒めなのです。更に、我が社の応接間には、水車の端木に、名刹大龍寺の

寺町研山老師に揮毫いただいた「鉢木庵」が掲げてあります。

「鉢木」とは能の演目にも登場する佐野源左衛門常世の物語です。雪のある夜、一宿を求めた僧のために大切な鉢植えの木を燃やしてもてなし、痩せても心は鎌倉にあると語ります。この「鉢木庵」の揮毫を通して、先代は「諦めるな。決めたことは最後までブレずにやり抜け」と、私に教え続けてくれています。

豪放磊落、天衣無縫な人物だと評され、65年の生涯を駆け抜けた先代。生誕100年、没後35年。先代は私に何を伝えようとしたのか。創業45年「報恩謝徳の精神」と「諦めない精神」は我が社に根付いたと思っています。しかし、教えはそれだけなのか、もっと深いのではないかと。親父殿を偲びつつ思考するほどに、「より善く生きろ」と示してくれているのではないかと、との思いに至りました。



同じ志を持つ 87人の仲間と歩み始める

人とのご縁とは実にうれしいものです。「地域を元気にしたい」という同じ志を持ちながらも、別々の道を歩んできた87人の「同志」を迎え、今月から共に生きてゆくことになりました。先代生誕100年の節目のご縁であり、赤い糸のような運命的な出来事であると感じています。

「人生邂逅し 開眼し 瞑目す」。哲学者亀井勝一郎の言葉です。「人生は多くの出会いを通じて物事を知り、見えぬものに気づくようになって終える」という意味です。邂逅とは出会いであり、出会いはご縁の始まりです。この世は全て、ご縁で成り立っています。小才は縁に会って縁に気づかず、中才は縁に会って縁を生かさず、大才は袖すり合う縁をも生かす。

人は、人生で何人の人に出会えるでしょうか。その中から何人の人と、ご縁を結べるでしょうか。亀井氏は出会いを通じて縁を深め、人に学んで自分を磨けといっています。仕事のおかげで、我々は日々、新しい人との出会いをいただきます。広告の仕事冥利に尽きます。

ご縁を生かすには「自分に厳しく人に優しく」、そして「素直で、探究心が旺盛である」ことが肝心です。「より善く生きる」ためには、社会の一員として出会いを大切に、そのご縁を深めていかななくてはなりません。

すべての人々が より善く生きるために

我々は「地域社会を元気にしたい」との理念のもと、『地域みっちゃく生活情報誌®』を毎月ご家庭にお届けしています。新たな仲間を得て、日本全国31都道府県142誌となり、約1,163万世帯にお届けできるようになりました。有り難い限りです。

我々の情報誌は四季の巡りと共存しています。この国は南北に長い列島ですから気候は少しずつ違いますが、地域で暮らす人々が豊かに暮らすための季節の情報を満載しなければなりません。読者にとって「情報誌は季節の贈り物」であり、作り手である我々からすれば「季節を創り出す広告情報」となります。

人もまた、自然の一部であり、その自然が生み出す季節を誌面に詰め込んで、知恵と工夫を凝らした情報誌を作り出していくことが、「より善く生きる」ための、我々の仕事なのです。

「より善く生きる」とは「生き甲斐」を持つて生きること。「生きる目的」を持つていないか、と思っています。人は、世のため人のために役立つと生き甲斐を覚えます。私の生き甲斐は日本全国津々浦々にハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』(フリーメディア)をお届けし、「日本を元気にする」ことです。

30年前、岐阜県可児市で『Kanisan club』4万部を創刊し、現在では日本の約20%の世帯にお届けできるようになりました。「世のため、人のため」が私たちの生き甲斐です。目標の5,000万世帯まで、あとわずか4倍です。

2年余の疫病は社会構造を一変させました。折しも第4次産業革命・DX化と呼び、新しい常態が日常化しています。メディア分野や広告の業界もその渦中にあります。「新しい酒は新しい革袋に盛れ」と申します。創業45年を迎えた中広は、大島新社長を中心にすべての人々が「より善く生きる」ために、日本全国にハッピーメディア®をお届けします。もちろん、新たに加わった仲間たちと共に。

10,254,178部

※VCエリア含む ※2022年6月末現在 ※世帯到達率は媒体配布部数と6月22日現在の各県公表している世帯数で割り算し一部イレギュラーな発行に伴い、7月に流通していないもの含まれます。

Table of magazine circulation data for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

読者の声 (Reader's Voice) section featuring photos of magazines and text about reader feedback and satisfaction.

掲載レスポンス (Publication Response) section featuring photos of magazines and text about advertising results and reader engagement.

VC TOPICS 愛知県『月刊ぶるうむ』KNS株式会社 大好評だったイベント・パンマルシェ第2回を開催! (VC TOPICS Aichi Prefecture 'Monthly Buruumu' KNS Co., Ltd. Greatly praised event 'Pan Marche' 2nd edition held!)

HAPPY MEDIA 『ままここっと』 園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン (HAPPY MEDIA 'Mama Kokotto' Directly delivered from kindergartens to families, free magazine packed with parenting information)

進路選択に役立つ情報を届けるセンター版企画

地域みっちゃん生活情報誌

県内私立学校、学習塾を一挙ご紹介

学校にとって6月は、オープンキャンパスや学校説明会などの告知を行う商戦期です。また学習塾は、1学期の中間テスト後の生徒たちに、入塾を促す広告繁忙期でもあります。そこで、『高崎フリモ』と『前橋フリモ』では、「Study Guide 2022」と題し、地元の学校や学習塾などを計240,000部で紹介するセンター版企画を実施しました。各学校は来春の入学希望者獲得、各学習塾は夏からの入会者へのPRが可能な大型企画となりました。県内の私学初等部から高等部、学習塾、フリースクールの計15校、県内半数以上の学校からご出稿いただきました。読者からは「進学を考えるうえでとても参考になった」「各学校の特長を比較しやすく、子どもと一緒に読めます」など、うれしい声が続々と届きました。スタッフ全員が入念に準備し時期を逃さず一斉にご案内できたことや、読者層と企画内容が合致したことが成功の要因だと感じています。これからも読者にとって役立つ情報誌づくりに、愚直にまい進いたします。



(群馬支社・村田)

お出かけ需要回復！今年の夏は旅行しよう！

地域みっちゃん生活情報誌

ターゲットに合わせた夏のツアー告知

5月末に発行した『NAGOYA FURIMO』特別版「The Nagoya vol.6」に旅物語の夏のツアー告知をご出稿いただきました。ツアーの内容は青森の星野リゾートに2泊するぜいたくなプラン。東北地方のおいしい料理や大自然を満喫できる内容です。美しい景色や豪華なホテルの写真と記事を組み合わせて、読者が見て飽きない誌面にしました。長く旅行や観光などの明るい話題を出しづらい雰囲気がありました。最近では各地で県民割も始まり、お出かけ需要が戻りつつあります。今回ツアーターゲット層と『The Nagoya』の読者層(40代~のゆとりのある大人)が一致し、「旅行の話題が載っていてうれしかった」「そろそろ旅行に行きたいと思っていたので、じっくり読ませていただきました」など、喜びの声を多数いただきました。お出かけや旅行情報を発信する際は、当社までご相談ください。



(名古屋支社・磯元)

住宅会社35社の情報を一挙展示

地域みっちゃん生活情報誌

家づくり初心者のためのイベント開催

6月18日、19日の2日間、鳥取大丸で「住宅会社選びのインフォメーション」を開催しました。家を建てるとなったら、予算検討、土地探し、住宅会社選びと、考えることが盛りだくさん。仕事に家事に子育てにと、忙しい読者にとって負担は大きいものです。そこで「住宅会社選び」だけでもお手伝いできないかと、公平な立場で住宅会社を紹介してくれる株式会社トリスマとタッグを組み、イベントを企画しました。会場では鳥取県東部35の住宅会社の特徴、施工事例などをパネルで展示。その場ですぐ各社を比較検討できます。また、株式会社トリスマによる個別相談ブースも設置。各家庭の事情や夫婦間の意見のすり合わせ、外構相談などさらに踏み込んだ相談を可能にしました。来場した読者からは「家の購入はいずれ...と考えているくらいでした。何から手を付けていいかわからない状態だったので、今回参加しました。予算などいろいろ知ることができて大満足でした」と感想をいただきました。情報誌だけでなく、リアルで読者の皆さんと繋がるイベントを、今後も検討していきます。



(鳥取ブロック・船越)

市民が安心して申請できるサポート窓口を設立！

地域みっちゃん生活情報誌

マイナンバーカード申請期日の告知

マイナポイント第2弾が6月30日から始まり。オンラインでの申請であるため、四日市市役所にオンライン申請サポート窓口が開設。オンラインに不慣れな人には、担当者が不明点などに丁寧に対応してくれます。今回は、誌面に市役所内マップを掲載し、窓口について告知。「ここに行けばわかる！」と地域の読者がマイナポイントについて知ることができるよう工夫しました。また、マイナンバーカード未申請の人に対して2022年9月末までに申請をするとマイナポイントが受け取れることを伝えました。これによりマイナンバーカード申請の促進に繋がっています。窓口開始からマイナンバーカード申請期日に合わせて6~8月号での3連載が決まっています。キャッシュレス時代に合ったマイナポイントを地域の皆さんが獲得することで、地域の活性化を助け、地元の店舗利用に繋がると嬉しいです。



(三重支社・鶴橋)

CHUCO HAPPY NEWS 日々、業務に向き合うなかで寄せられた、うれしいニュースをお届けします。



知り合いに、介護職や看護師、医療関係など、人のために働く人が多く、「わたしは人のために仕事をしていないな...」と、申し訳ないような恥ずかしいような複雑な気持ちでいたことがありました。それでも、「GUJO+」で地域の頑張る子どもを応援するコーナーや元気なお年寄りを紹介する企画、「GUJO+」と同じ歳の10歳の子ども写真集、全国10万人の笑顔集め...多くの元気な笑顔を集め、郡上を元気にする思いで上機嫌を意識して仕事をしていました。そんななか、「郡上で頑張ってくれてありがとう」とママ友に言われたり、読者から「編集スタッフさんから地元愛を感じます！」などのハガキをいただくようになりました。今では、この仕事に誇りをもち地域を元気にしたい気持ちでいっぱいです。これからも「上機嫌」でいられるように...。自然と上機嫌でいられる人になりたいと思います。この会社・仕事に感謝します！ (GUJO+編集室・大坪)



2016年10月号への掲載からお付き合いが始まった薬局。県内外を問わず、オープン告知はすべて事前にご相談いただける関係性になりました。総務・人事部の方から周年ポスターの制作や、イベントチラシ、求人チラシの引き合いを受けることも。コロナ禍で訪問を控えるしかありませんでしたが、定期的に連絡を取っていたこともあり、「いつも丁寧な連絡をありがとう。社内の評判もいいからまたお任せします」と言ってくれました。仕事に対する姿勢を評価いただけることは、とてもうれしく思います。今後も、「戸谷さんに任せるよ」と言ってくいただけるように、真摯に向き合っていきます。 (緑区フリモ編集室・戸谷)

CHUCO CLUB

第44回定時株主総会を開催

さる6月24日、第44回定時株主総会を岐阜本社にて開催いたしました。総会では、第44期の経営テーマである「地域にDX化を！」に沿って推進した「紙媒体とインターネットの共創」の成果を報告。そして、自社メディアの意義を信じ「地域の世帯に元気の出る情報をお届けする」ことに愚直であり続けられ、読者・広告主から支持いただけると再確認できたことを事業報告に沿って報告いたしました。第45期は「DX時代を駆け抜けろ！」のテーマのもと、新たな経営・執行体制で挑んでまいります。株主の皆様を含め、全てのステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも当社に対するご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(管理本部・後藤)

「39フェア」当選者コメント

クーポンアプリ「フリモ」運用開始1周年を記念して、情報誌と連動で開催した「39フェア」プレゼント企画に4,399名からご応募いただきました。当選された方から寄せられた喜びの声ををご紹介します。(業務執行戦略室・岡本)

当選のメールが届き、初めてのことであったので最初は当選が信じられませんでした。届いたらラッキーだなくらいに思っていたのですが、本当に送られてきて驚きと喜びで胸がいっぱいです。いただいたお金で前から欲しかったけれど手を出せていないものを買おうと思います。本当にありがとうございます♡そして1周年おめでとうございます!! (佐賀県・20代・女性)

当たるとは思っていなかったのですが、びっくりです。雑誌を読んでクーポン登録して、近くの店で家族で飲食したところで。 (三重県・30代・男性)

家族みんなで当選を喜びました!!子どもたちからのリクエストで、地元のフレンチレストランに行きたいと思います。 (宮城県・30代・女性)

岐阜県に引っ越してきたばかりなので、いただいたお金で地元のお店を巡って、お気に入りを見つけたと思います! (岐阜県・30代・女性)

現金1万円、ありがとうございました!フリモで無料で情報をもらって、クーポンを使って、さらに1万円も当たって、最高の気分です!さっそく気になっていたお店に行ってきたよ。 (愛知県・40代・女性)

応募したことを忘れていました。そういえばそんなこともあったなあ...と、びっくりです。でも、とんでも、うれしい。地元のお店においしいものを食べに行きます。 (滋賀県・60代・女性)

当選するとは、ビックリです。家に当選金が届き本当にビックリしました。飲食店も通常営業になってきていますので、家族でおいしい物でも食べに行きます。 (三重県・50代・男性)

育休復帰者研修を実施

今年4月に育休復帰した社員11人を対象に研修を実施。「両立に関する最近の動向」「育休後の仕事」「育児・家事とパートナーシップ」などの講義や先輩社員のリアルな体験話、休職中に新しくなった業務内容・商材の説明などを盛り込んだ研修となりました。職場復帰する子育て中の社員が抱える不安を少しでも軽減し、両立へのモチベーションアップに繋げる交流の場がもてました。当社ではたくさんの子育て中社員が活躍しています。中長期的なキャリアの展望をもって、自分らしい働き方・生き方をするためのコツを伝えることで、性別に関係なく活躍できる職場づくりに繋がっていきます。(業務執行戦略室・伊藤)



▲オンライン研修の様子

新卒者の今 -2022.vol.2-

『クッキーズ』編集室の配属となり、埼玉県久喜市という今まで知らなかった街で、頼もしい先輩方に毎日さまざまなことを教わりながら仕事をしています。営業中、多くの方とお話ししながら、久喜の街と久喜で生活する人たちの魅力を発見する毎日です。これから、その魅力を引き出す広告を作ることができるよう、いろいろな方と良い関係を築き上げていきたいです。そして、「クッキーズ」を読んで、私と同じように新たな発見をする人を生み出せるよう、努めてまいります。



(埼玉ブロック・加藤海優)

部署だより NO.102

営業本部 名古屋支社／セールスプロモーション部



▲名古屋支社／セールスプロモーション部スタッフ

名古屋支社セールスプロモーション部は政令指定都市である名古屋市を主戦場としているため、競合広告会社とがひしめくなか、ブランディングや販促のパートナーとしてクライアントから選んでいただく必要があります。そのためは、情報誌をはじめとする自社商品を利用しながら、映像、ウェブ、SNS、イベントに至るまで、幅広い知識をベースに、業種ごとの専門知識が求められます。そのため毎日の営業、提案を通じて研鑽を積んでいます。

近年ではニーズの多様化に伴い、ポストイン型高所得者層向け冊子『The Nagoya』、設置型未就学児~小学校低学年向け冊子『キッズフリモ』を独自に立案、発行。さらに本年、新たにDM型高所得者層向け媒体『AFFLUENT』が加わり、他社と差別化した提案を進めています。

そして最大の武器は高き志!いよいよ始まった当社の新たな目標・5カ年計画達成の重要な一翼を担うべく、地域経済の活性化に向けまい進みます。

(名古屋支社・宮西)

編集後記

当時24歳、2000年というミレニアムイヤーに、人生第二のキャリアとして中広を選んだ大島新社長。一般社員からスタートし、初任給は11万円だったとか(本人談。現在の当社初任給は24.5万円)。そこから求人、イベントセミナー、セールスプロモーション、フリーマガジンと各事業で手腕を発揮され、この度、社長に就任。まさに中広ドリームを掴み取られました。新たなリーダーの誕生と共に、わたしたちは創業当初より大切にしてきた理念を貫くため、「変わらないための、進化」を始めます。先日、新卒採用者への内定通知書を送りました。とても優秀な皆さんです。もしかしたら、将来、皆さんのなかから次世代の社長が誕生するかもしれません。その頃には「全世界〇カ国でハッピーメディア」を発行中!と中広報で報じているのでしょうか。今から、さまざまな国の読者コメントが届く日を楽しみにしています。(業務執行戦略室・岡本)



株式会社中広メディアソリューションズ設立 全国5,000万部達成に向け加速

旧株式会社ばどを中広グループに迎え、この度、株式会社中広メディアソリューションズ(CMS)を設立。長年、フリーペーパーの発行を続けてきた同志とともに歴史を刻み始めました。目的は「地域みっちゃく生活情報誌®」を主体とするハッピーメディア®発行エリアの強化。発行部数は31都道府県142誌に拡大し、総発行部数は約1,163万部となりました。全国5,000万部発行に向けた新たなスタートです。

「都市部」×「地方部」 両社がもつ高いノウハウの共有

旧株式会社ばどは1987年に神奈川県横浜市で創業。個人広告(Personal Advertising)から始まった情報誌「ばど」は2000年に総発行部数1,000万部を突破し、2002年に「フリーペーパー発行部数世界一」としてギネスブックに登録されています。日本におけるフリーメディアの先駆けとして、30年以上にわたり業界を牽引してきました。

旧ばどは都市部での発行に高いノウハウをもち、地域に密着した情報誌「ばど」[ARIFT]といった高品質な情報誌を発行しています。

一方、中広は1994年の「Kanisn club」(岐阜県可児市・美濃加茂市等で発行)創刊以来、約30年にわたって地方部での発行を続けてきました。岐阜県で始まり東海地方へ展開、滋賀県を皮切りに関西・中国地方へと発行エリアを広げ、VC社と共に日本全国に拡大しています。現在は北海道から沖縄にまで、その発行網を伸ばしました。「地域みっちゃく生活情報誌®」を主とするハッピーメディア®ブランドは、さまざまな読者層に愛され、活用されています。

昨年、当社は株式会社関西ばどと業務提携を結び、両社のノウハウを提供しあいながら、「地域みっちゃく生活情報誌®」の関西での基盤をより強固なものとしています。今回の一体化により、旧ばどがもつ都市部展開ノウハウと、中広を重ねた地方部のノウハウを

融合した株式会社中広メディアソリューションズ(CMS)が誕生。「地域経済の活性化」を目的とした「フリーの紙メディア」において、日本最強の発行体制ができたことと自負しております。今後は、旧ばどが発行エリアである神奈川県、埼玉県、東京都、宮城県を中心に東日本の拠点としての機能を果たし、創刊・発行を一層強化してまいります。

全国で地域経済を活性化 同じ志のもと愚直に進む

旧ばどと中広の理念は一致しています。すべては「地域経済の活性化のために」。地域にみっちゃくし、そのエリアに住む人、働く人、学ぶ人の暮らしを、広告情報で豊かにすることです。両社は異なる道を歩みながらも、共にフリーのメディアを使って「地域みっちゃく」を標榜し、地域の経済を盛り上げようと数十年の歴史を重ねてきました。同じ志をもった仲間が一体化することで、より強く全国一の情報網確立に向かうことができます。

新設したCMSは、40代の釜薫が代表取締役社長に就任。中広もこの度の取締役会において、40代の新社長就任の運びとなりました。インターネット広告が業界を席捲するいま、新時代の広告提案はクライアントや地域がもつ課題解決に不可欠です。そのため我々がタッグを組む紙のフリーメディアが果たす役割も、多様性を求められます。めざすのは



日本でもっとも読者到達率の高い情報誌です。発行エリアの拡大のみならず、確実に反響がでる誌面展開、情報誌の質向上のために経験とノウハウを共有し高い相乗効果を発揮します。DX化が謳われる現代において、紙の情報誌は本物のみが生き残ります。今後も新しい仲間を募りながら、ゆるぎない発行部数を誇る企業へと成長していきます。

これまで「地域経済の活性化」という旗のもと、多くの同志が集まりました。新しく仲間となった87人がこれまでに培った知識を存分に発揮し、グループ全体の躍進の先頭を走ってくれと期待しています。中広グループは体制を新たに、日本全国5,000万世帯に生活情報を届ける最強のブランドとして、今後も高い志でまい進いたします。すべては「地域経済の活性化」のために。

株式会社 中広メディアソリューションズ (CHUCO MEDIA SOLUTIONS CO.,LTD.)
新しく仲間となった87人を代表して、役員と営業拠点責任者より意気込みをいただきました。それぞれの経験とノウハウを最大限活用し、日本全国で必要不可欠な情報誌の展開を進めます。

36年間、地域メディアを発行し地域経済の活性化、「人・街・元気」を使命として、展開してきました。中広と同じ志だと思っていますし、ご一緒できたことは「ご縁」であり「運命」と感じています！この事業に粉骨砕身、まい進してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

この度、中広の皆さんとご一緒できることをとても光栄に思います。簡単な自己紹介ですが、株式会社ばどに 2005年に入社以降、東京 北西部埼玉は 北と南を中心に現場を担当してきました。今後、多くのシナジーを想像するとワクワクします。

仙台版創刊以来 25年間、宮城県に根づくフリーペーパーとして14人の営業スタッフ・12人の内勤スタッフで運営しております。磐石な協力体制を築くことで、顧客へもっと課題解決の口手を広げられると感じています。一緒に宮城ナンバーワンの存在へと成長していきますよ。

2000年に 株式会社ばどに 入社し、フリーペーパーの門を叩きました。フリーペーパーに 携わって3年目を迎えました。中広の皆さんに 触れ、今が 番 入社 当時に 近い 気持ちに なっていますこの 気持ちをもったまま、新しい組織として 全員体制で取り組んでまいります。

2003年4月に 株式会社ばど 入社し、埼玉 8年、横浜 7年、東京 3年、そして現在、埼玉と、営業一筋でここまできました。長年、同じ事業を継続してこられた中広と同じ方々を向いて、未来へ共に進んでいけることを、本当にうれしく思います。

会社概要
商号 株式会社中広 (CHUCO CO., LTD.)
東証・ 証 証券コード[2139]
創業 1978年
資本金 4 億4 万 円
従業員 4 58名(2022年6 月末現在)グループ全体 4 78名
事業内容
フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業
セールスプロモーション事業 通信販売事業
クロスメディア事業 VC事業(ポランタリー・チェーン)
理念 広告業を通して「地域社会への貢献」(地方創生に!)
社是 人が命・人が金が財産 (社員が輝く組織に!)
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)
社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

第45期 基本方針
スローガン 愚直なまでに報恩謝徳の精神で
テーマ DX時代を駆け抜けろ!

オフィシャル運営サイト
●中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見様サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)
公式アカウント
●Facebook ●YouTube ●Instagram ●Twitter
加盟団体
●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

2017年取得 **しるみて** 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です
2016年取得 **女性が活躍しています!** 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

営業拠点

■ 本社
岐阜本社 岐阜市東興町27
名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■ 営業本部
フリーマガジン事業部
《北海道》
SORA編集部 滝川市東町6-1-11
TEL.0125-74-6169
旭川市東光6条6-4-7
TEL.0166-85-6158
《宮城県》
かみずい編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F
TEL.022-341-4809
なうてい!編集部 名取市手倉田字廣訪532-1 1F
TEL.022-797-8541
さきっ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F
TEL.0229-25-8792
《群馬県》
高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1
[高崎]TEL.027-353-8714
[前橋北西版]TEL.027-353-8711
[前橋南東版]TEL.027-353-8713
広域営業部 TEL.027-353-8714
玉村フリモ・伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6
TEL.0270-61-6117
桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F
TEL.0277-47-7635
《埼玉県》
クッキーズ・とねじん編集部 久喜市久喜中央2-8-23 3F
TEL.0480-38-6881
《福井県》
嶺北フリモ編集部 福井市大願寺2-9-1 7F
TEL.0776-97-9552
きらめきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F
TEL.0770-24-2622
遊賀/福井広域営業部 栗東市手原5-6-19
TEL.077-596-3335
《岐阜県》
GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F
TEL.058-247-2512
《北広島》
SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2
TEL.0577-34-5579
Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13
[Wao!]TEL.0584-75-1960
[mintoup]TEL.0584-77-4088
[はしまる]TEL.058471-6226
《北知多》
GUJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1
TEL.0575-67-0655
たんたんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1
TEL.058-380-6066
きららくらぶ編集部 関山市玉通1-6-3
TEL.0575-24-4334
かにさんくらぶ編集部 可児市今津字町1595-190
TEL.0574-25-7009
おりべくらぶ編集部 多治見市太平町4-38
TEL.0572-21-2626
はせるくらぶ編集部 土岐市東山町1-4 3F
TEL.0572-55-2033
maika club編集部 中津川市中津川字上金1231-1
TEL.0573-62-2522
《愛知県》
名古屋フリモ 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市中村区柳森町107 2F
TEL.052-355-6111
[中央版・西区版・北区版・東区版・天白版・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
TEL.052-433-1602
緑区フリモ編集部 名古屋市緑区六田1-150
TEL.052-829-0270
守山フリモ アサヒトモ・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本町4丁目3-53
[守山フリモ]TEL.0561-42-5799
[アサヒトモ]TEL.0561-42-6981
[ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971
ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知郡東郷町北山台4-1-6
[ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850
[さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885
[かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855
Cocon club・ちるくらぶ 北知多フリモ・西尾フリモ 安城フリモ編集部 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1
[Cocon club・ちるくらぶ・西尾フリモ・安城フリモ] TEL.0562-85-1077
[北知多フリモ] TEL.0562-85-1078
リッパル倶楽部編集部 犬山市松本町2-29
TEL.0568-39-6111
岡崎フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F
TEL.0564-83-7121
セールスプロモーション部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
TEL.052-571-2139
《三重県》
ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10
TEL.0594-25-9988
Belive club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10
TEL.059-373-4400
よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F
TEL.059-325-7562
つうび〜ず編集部 津市栄町1-840 5F
TEL.059-213-7666
リーガクラブ編集部 米子市鴻之台3番町36-1
TEL.0595-41-0156
ふぁみんぐくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A
TEL.0598-31-3623
イセラクラブ編集部 伊勢市岩洲3-6-5 2F
TEL.0598-63-8282
からつ倶楽部編集部 尾鷲市坂場西町2-34 2F
TEL.0597-37-4100
さみっくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室
TEL.0599-65-7201
《滋賀県》
ぼてじゃこ倶楽部編集部 港区新橋6-14-5 6F
TEL.03-3434-8448
岐阜ブロック こんきくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F
TEL.0749-26-0555
オウテック倶楽部編集部 近江八幡市桜宮町289 3F
TEL.0748-36-1148
湖南フリモ・甲賀フリモ編集部 栗東市手原5-6-19
TEL.077596-3335
びわこ倶楽部編集部 大津市浜大津2-1-35 6F
TEL.077-521-3911
《奈良県》
かしろくらぶ編集部 橿原市本町260-1 1F
TEL.0744-48-0606
《和歌山県》
まいなゐ編集部 岩出市高瀬84-2 2F
TEL.0736-67-7630
《鳥取県》
つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-960 2F
TEL.0857-30-6446
くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F
TEL.0858-27-0510
《管理本部
経理部・総務人事部 岐阜市東興町27
TEL.058-240-4005
[購買流通課]TEL.058-246-0285
《福岡県》
マイタウン西新・姪浜編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F
TEL.092-833-5250
マイタウン伊都編集部 糸島市前原中央2-3-60 1F
TEL.092-332-8223
《VC営業部
岐阜市東興町27
TEL.058-214-3325
イノベーション事業部 東京支社 港区新橋6-14-5 6F
TEL.03-3434-8448
岐阜ブロック 岐阜市東興町27
TEL.058-247-2511
三重ブロック 四日市市鶴の森1-5-16 8F
TEL.059-325-7562
関西ブロック 大津市浜大津2-1-35 6F
TEL.077-521-3911
《官公庁事業部
イベント・セミナー部 岐阜市東興町27
TEL.058-248-5611
《DX開発事業部
EC部 大垣市加賀野4-1-13
TEL.0584-74-0745
デジタルマーケティング部 岐阜市東興町27
TEL.058-214-3325
DX部 岐阜市東興町27
TEL.058-201-0245
《株式会社 ケイ・クリエイト
本社 一宮市木曾川町里小牧寺東125
TEL.0586-86-0608
東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F
TEL.0587-96-8331
西尾張支社 あま市篠田三田畑19-1
TEL.0587-96-8336